

去る4月17日名古屋高裁は、イラク特措法により航空自衛隊が実施している武装した米兵のパクダットへの空輸業務は、政府自身が憲法9条の解釈として禁じる「他国の武力行使と一体化」するもので違憲である旨の画期的・歴史的判決を下した。この判決は、5月3日の憲法記念日の前日である2日に確定した。これに対して、高村外相は「暇になったら読んでみる」、航空幕僚長は「そんなの関係ない」



とうそぶいているとのこと。判決に対する意見は色々あろう。しかし高裁が下した違憲判決につき、行政の幹部と制服組が、判決内容の吟味さえしないで居直るといふ姿勢は、この国の政府が憲法というルールに基づく政治とは無関係に暴走する体質を保有していることを象徴している。戦前の日本軍国主義下の政府と軍部と同じなのである。恐るべきは、この体質であろう。自由と民主主義の歴史は、このような政府の体質に対する、市民的批判の必要を教えている(刊行委員長/弁護士・徳井義幸)

族譜

2008年6月18日(水)
開場18時 開演18時半
メイシアター大ホール (阪急吹田駅下車すぐ)
入場料:一般4,000円(当日4,500円)
学生・ユース(20歳以下)・障害者の方は2,000円
吹田「族譜」(チョッポ)をみる会
事務局:吹田市職労06-6386-4428

市民ふれあいフェスティバル
ジョージ・ロックコンサートも同時開催
アマチュアのパバンド演奏・ダンスなどを開催します。
●とき 7月12日(土)
13:00~16:00(予定)
●ところ メイシアター中ホール(入場無料)
第39回吹田まつり
●前夜祭:7月26日(土)
●本祭り:7月27日(日)

第39回吹田まつり
2008ハートフルコンサートのタペ
落ゆう子・宮史郎・伊藤咲子コンサート
2008.7/12(土)
開演:午後7時00分(開場:午後6時30分)
入場料2,000円(当日2,300円)
吹田市文化会館(阪急吹田駅前)
メイシアター大ホール(阪急吹田駅下車すぐ)

お問い合わせ:吹田まつり事務局06-6384-2145(直通)

▼9条世界会議in関西。会場はいっぱい。ふらつきながら階段を上がつくるお年よりがあぶない!でも、「また正義の名の下に戦争をしてはならない」と足を踏ん張って来られたんですね。ペアテさんが「平和憲法で、日本国民の生活は本当に変わりましたね」と私たちを見つめた。(く)

▼沖繩で開かれた、「米兵によるあらゆる事件、事故に抗議する県民大会」に参加して、現地で県民の怒りを肌で感じ、他人事ではないと思った。「思いやり予算」が参院本会議で否決されるなど、平和に対する大きなうねりが起きていると最近感じます。(かえる)

▼「靖国派」国会議員の介入で公開が危ぶまれた映画「靖国」。中国人監督の映画の内容が「反日」的だとして、「上から目線」で「検閲」を要求する政治家の感覚に、違和感あり。文化も国家統制なんていつの時代の話? (て)
▼イラクやパレスティナの影に隠れて、あまり注目されませんが、スーダンのダルフル地方でも大虐殺がありました。今度はそのダルフルを訪ねてみようと思います。市役所を退職し、フリーになって4年。現場から「戦争あかん」の声を上げていきたいと考えています。(に)

「創氏改名」「皇民化政策」の真実とは?
朝鮮半島を舞台に国家と文化のありようを問う。

昭和15年、朝鮮・水原郡。日本政府による「創氏改名」政策にあたったいる谷六郎は、改名を拒んでいる地主・薛鎮永の説得を命じられる。薛は、日本軍に二千石の米を献納する親日家であったが、改名に依る様子はない。家を訪れた谷に、700年にわたって受け継がれてきたという「族譜」を見せ、自分は一族の当主として「姓」を変えることはできないと語る…。

梶山季之 原作 ジェームス三木 脚本・演出



住宅から2本目の線路がはがされ、1本目の線路がその空いた空間に移設される。公害道路は最も住宅に近い所を走る(吹田市泉町)



工事周辺地域で貼り出されたポスター

市民に背を向ける 吹田南部地域問題

産廃処理、住民の被害が起らない保健体制を
貨物駅移転問題と並んで、これも吹田市南部地域、東御旅町の産廃処理場問題。吹田市が「建設許可」を下ろしてしまつたので、あとは大阪府が「営業許可」を出すかどうか、が争点であったが、今年3月、住民の願いむなく、大阪府は営業許可を出してしまつた。これで産廃業者「大阪都市開発(株)」

が操業を始めれば、吹田市始まって以来の産廃処理場が稼働すること。
しかし、住民たちは「産廃処理施設から環境を守る周辺住民対策会議」を立ち上げ、①業者が操業を開始する前に地元住民代表と協定書を交わすこと、②地元住民の健康被害が起らないような保健体制を確保すること、③事業者が情報を公開させること、④苦情が出たとき、大阪府・吹田市・大阪市は連携して調査し、情報を公開すること、などを求めて、運動を進めている。
ここでも、大阪府・吹田市が住民の健康を守る立場に立つのか、業者の営業を無批判に是認するのが、が問われている。

梅田貨物駅の移転工事と 産廃処理工場

せめて公害道路をドーム化してほしい
1000台のトラック
環境悪化が心配
「公害道路いらない」「一日1000台のトラックはごめん」だ。住民の切実な願いが届かず、梅田貨物駅の吹田移転工事が始

まった。現在は写真でご覧のように、住宅側から2本目の線路がはがされている。最終的には住宅側に接している線路を、この空いたスペースに移動させて現在の線路部分が「貨物専用道路」になる予定だ。
つまり「貨物専用道路(公害道路)」は住宅に最も近接したところを走る。
「せめて公害道路をドーム化

してほしい」と、今年はじめ住民署名が1万3千筆集まった。しかしJR、吹田市ともに、いまだにドーム化に関する回答を行わず、沈黙したままだ。
5年という長期にわたり、なおかつ夜間を中心とした工事になるため、住民たちは独自のポ



すでに営業許可が下りて操業間近の大阪都市開発株式会社(吹田市東御旅町)

編集後記